



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成29年10月27日発行 No.25 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



「たいへんなことは大きく変われること」 ～「あ・は・も」の目標～

タイトルの言葉は、北京オリンピックマラソン代表の佐藤敦之さんの言葉です。この言葉は、「たいへんなこと、辛いこと、困難なことを乗り越えたときに、人は大きく成長できる。」という意味を持っています。ですから、困難を乗り越える経験を積ませることは、子ども達にとって大切な教育となります。

困難は、目標を設定し、それを達成する過程に必ず生まれます。マラソン記録会でも、子ども達は、自分の目標を達成しようと困難と向き合いました。どの子も「歩きたい」とか「力を緩めよう」とかの困難に負けず、目標を達成しようと自分の力を出し切ってゴールする姿がとても印象的でした。

子ども達一人一人が、大きく成長するマラソン記録会となりました。



力を出し切ってゴールする子ども達



自己ベストで頑張れたのは、「応援」の力があつたからです。保護者さんもたくさん応援に来てくださいました。

満員御礼！！ ～図書室とのコラボ～

「いそげ！いそげ！」と、全校生の半分以上の子ども達が競って図書室に向かいます。本の貸出日は、図書室が子ども達の熱気で満ちています。本好きな子がどんどん増えているのは、学校司書と先生方との連携が要因しています。絵本と給食のコラボはお知らせした通りですが、今回は、再生したビオトープに関連した本を入口に並べてくれました。



←昨日は、166名が251冊の本を借りていきました。



↑ ビオトープに関する本
←池に金魚を放しました。

ペロリンチャレンジ週間！

毎月、最終週は、苦手なものでも完食し、生産者や調理員さんへの感謝を表す「ペロリンチャレンジ週間」となっています。

児童会給食委員の子ども達も、残菜の処理や栄養素のお知らせなどで、ペロリンに貢献しています。

ごちそうさまでした。



残菜の量などを確認しながら、とてもいねいな作業を進めています。

